



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行：横浜スペイン協会 横浜市鶴見区岸谷 2-18-4 年4回発行（1月4月7月11月）

新駐日スペイン大使・横浜スペイン協会名誉会長就任

2022年6月3日

本年3月末に、ホルヘ・トレド駐日大使の後任として駐日スペイン大使に着任されたフィデル・センダゴルタ・ゴメス・デル・カンピージョ大使ご夫妻を横浜にお迎えし、6月3日に恒例の横浜外国人墓地での墓参と歓迎会を開催いたしました。当日は曇り空の天気でしたが、12時に横浜外国人墓地正門前には、23名の会員がセンダゴルタ大使ご夫妻をお出迎えし、今年68回忌を迎える故フランシスコ・デル・カステージョ大使の墓参を行い、ご冥福をお祈りいたしました。墓参が終わり歓迎会の会場であるKKRポートヒル横浜へと移り、歓迎レセプションが始まりました。初めに、高木洋子さんのピアノによるスペイン国歌、日本国歌の演奏が行われました。続



いて、下山会長のスペイン語での大使歓迎の挨拶がありました。次に、大使のご挨拶では、「30年以上前にスペイン在住の日本人画家・故春田美樹さんとの縁から、ロンダの地に桜を植えることから始まった交流が、今も続いていて、スペイン大使館の庭にも植樹してもらった桜の木は美化に貢献し、住んでいる我々を楽しませてくれている。また長きにわたり元大使のお墓を守ってくれていることをスペイン国の人間としてとても感謝している。横浜スペイン協会の皆さんの今後の活動に期待をして

いる。」などのお言葉がありました。そして、横浜スペイン協会の名誉会長の就任を喜んで引き受けると述べられ、乾杯の音頭をとって頂きました。その後、今回の重要なセレモニーである、横浜スペイン協会名誉会長受託文書に、センダゴルタ大使の署名を頂きました。歓談の時間は、ピアノの演奏が続く中、大使ご夫妻は各テーブルを回られ、全ての会員の皆様と懇親を深められました。限られた時間の中でしたが、皆様との交流を持つことができました。今後もスペイン大使館との交流の機会を多く持つと考えています。（武菱邦夫）



※ 2022年6月4日 神奈川新聞朝刊「かながわワイド」に写真付きの記事が掲載されました。
著作権上の理由でホームページの紙面からは削除しました。

横浜スペイン協会の一大イベント、「新大使の歓迎会と名誉会長就任式」の様子を、神奈川新聞が取材に来ました。翌日の朝刊に上のように掲載されました。記者の方が熱心に取材されて、わかり易くまとめてくださっています。



横浜外国人墓地の墓守？！

————— 歴代駐日スペイン大使墓参の歴史 —————

横浜スペイン協会は、駐日スペイン大使が新たに着任されると、名誉会長の就任をお願いしています。これは、当協会を設立して7年経った1997年に、サンチャゴ・サラス大使への当協会の名誉会長推挙が提案されたのが始まりです。以後途切れることなく、新たに着任された各大使には受諾をいただいでいて、今回のセンダゴルタ大使で8人目となります。

一方、新大使の横浜外国人墓地への故カスティージョ元大使の墓参は、全ての大使が行っているわけではありません。第1回目の墓参は、1991年アントニオ・デ・オヤルサルバル大使が参列されました。これはスペイン大使館と当協会が共催して行われたもので、元大使が1954年に当地で亡くなられて37年後でした。ご命日である6月18日に、大使、当協会の初代会長をはじめ30名の参列者があり、追悼ミサも執り行われた墓参でした。(AIYES 通信#3に詳細が載っています。横浜外国人墓地に眠るスペインの人々についての記事もあり興味深いです。ホームページでAIYES 通信のバックナンバーは1号から最新号まで全て見ることが出来ます。ご興味がある方は、ぜひご覧になってみてください。)

それ以降、大使の墓参はしばらく途絶えます。2003年6月18日、カスティージョ元大使の50回忌のご命日に、第2回目の墓参が行われました。カトリック山手教会で追悼ミサが執り行われ、ハビエル・コンデ大使ご夫妻、他2名の参事官も参列されて40名もの方々が白いカーネーションを捧げ、霊をお慰めしたとAIYES#36の記事にあります。

その後、2011年にミゲル・アンヘル・ナバーロ大使、2015年にゴンザロ・デ・ベニート大使、2019年にホルヘ・トレド・アルビニャーナ大使、そして今回のセンダゴルタ大使と、途切れることなく横浜外国人墓地への参拝は続いています。

新任大使は春に着任されるので、当協会も大使館にご挨拶に伺い、6月に名誉会長受諾署名式と歓迎会を催すというスケジュールから、ご命日の近い故カスティージョ元大使の墓参という行事が恒例化したようです。長い間「墓守」を続けている当協会の活動に、それぞれの大使は深く感謝の意を示されます。はるばる東京からお見えになるので、私たち協会メンバーは熱烈歓迎で大使をお迎えしています。(下山綾子)

2022 年度横浜スペイン協会定時総会議事録

1. 日時： 2022 年 6 月 4 日（土）15 時～16 時 30 分
2. 場所： かながわ県民センター 708 号室
3. 出席者： 下山利明、武菱邦夫、岩田岳久、松村清、原健三郎、服部君江、平本紀子、大戸正彦、星野伸行、大谷博子、問屋正勝、本間一彦、久安邦明、朝倉聡、山田早百合、下山綾子（敬称略）、合計 16 名
4. 議長： 下山会長
5. 議案： 第 1 号議案：2021 年度事業報告
第 2 号議案：（1）2021 年度決算報告
（2）監査報告
第 3 号議案：2022 年度事業計画案について
第 4 号議案：2022 年度予算案について
6. 議決： 第 1 号議案から第 4 号議案に関して審議を行い、出席者全員の賛成で承認、可決された。

7. 議事内容：

1. 大戸総務担当理事の司会で開会し、冒頭下山会長より挨拶があった。過去 2 年間新型コロナのために国内、国外の交流事業を実施できないこともあったが、2022 年度は積極的に予算編成し交流事業を推進していくとのコメントがあった。
2. 協会規約第 10 条 2 項に従い、下山会長が議長に選出され、大戸理事より、第 1 号議案の説明があった。
3. 引き続き第 2 号議案（1）について、大戸理事より説明があった。その後同議案（2）について星野監事より監査報告があり、2021 年度の会計処理は適切に執行されたとの説明があった。
4. 第 3 号議案について下山会長より基本方針の説明があり、引き続き各担当理事が説明を行った。
5. 第 4 号議案について下山会長より説明があった。交流事業については単年度に集中せず、毎年継続的に実施していくことが大切との意見があった。

8. 報告事項：理事、監事選任について

下山会長より協会規約第 5 条 3 項に従い、2022 年度の理事・監事の選任報告があった。

再任	会長	下山 利明	
	理事	岩田 岳久	スペイン語教室担当
	理事	松村 清	会計、スペイン語教室担当
	理事	武菱 邦夫	渉外、イベント担当
	理事	服部 君江	スペイン・サロン担当
	理事	原 健三郎	スペイン語教室担当
	理事	大戸 正彦	総務担当
	監事	星野 伸行	
新任	監事	問屋 正勝	
退任	理事	平本 紀子	
	監事	大谷 博子	

最後に新任の問屋氏から就任のご挨拶、退任される平本理事、大谷監事から退任のご挨拶があった。

●スペイン語クラス

『新聞』 クラス、創立25周年を祝う！

栗山由美子

1997年4月に開講した『スペイン語で新聞・雑誌を読む会』（通称「新聞」クラス）は今年3月で満25周年を迎えました。何と四半世紀！この長寿を祝って去る6月18日波止場会館1階のレストラン SaLa で Carlos Cespedes (V・G)、佐藤英樹 (P)、ゲスト出演の María Castaño (V) (誰かな?) を迎えて音楽イベントが開催されました。そして和やかな雰囲気の中、大変楽しいひと時を過ごしました。参加者お二人の感想をご紹介します。「25周年記念イベントでは大好きなラテン音楽と、先生の素敵なボーカルを堪能しました」、「祝25年の会では、乾杯は AIYES 会長、発足の逸話と親しかった故人を偲び苦勞を語られたのは先生、メリハリある歌で会場を沸かせたのは三人の音楽家。和やかで楽しい会だった」。本来ならば広く希望者を募り、ご参加頂きたかったのですが、コロナ防止のため会場側から人数制限がかかり、生徒の皆さん、会長ご夫妻並びに理事の皆さんのみの参加となりました。



さてクラスが25年継続している要因を考えてみると、その第一は変動する世の中に読むべき記事が山ほどあること（しかし難し過ぎず、細か過ぎず、受講生皆さんの興味を引く記事を見つけ出すことは大変です!）。その第二は、クラスの皆さんが非常に熱心に受講して下さることで。難解な箇所は意見を交換し、皆で考えながら授業を進めて行きますが、私も学ぶことが多く、やり甲斐を感じています。



「新聞クラスの魅力とは?」という問いかけに受講生の皆さんが感想を寄せてくださいました。その一部ですがご紹介します。●25年の継続とは、本当に素晴らしいことです。先生のお人柄と皆さんの向上心が一つになって、その原動力になったと思います。(松本) ●王室のスカンダルから核エネルギー問題まで、扱う教材の広さ。記事の翻訳に留まらずその内容を考えながら進めてゆく講義。優しいけれど厳格で、程度を落とさない。そして楽しい。(浅里) ●先生苦心の選択記事を読むクラス。月一回で読む記事は限られるが、10年で100、20年で200の記事を精読すると思うとちょっと嬉しい。(中西) ●年齢などに関係なく、学びになりそうな疑問

や意見を自由に発言しあえることです。「しあえる」とは、先生だけでなく参加者皆がしっかり予習をして意見を用意するからできることだと思います。真剣に一緒に取り組みながら楽しんでいます。(原本) ●先生と生徒が一丸となって取り組むこのクラスのスタイルはとても気に入っています。(関) ●一念発起して新聞クラスに復帰し早一年。読解には毎月大苦戦だが、親身な栗山先生や優秀な諸先輩の応援を受け、今後も景色のよいあの教室で学習を続けていきたい。(佐竹)



新聞クラスにご興味のある方は、ぜひ見学、ご参加下さい。

●スペイン・サロン

「Castilla y León」

2022年6月24日(金)波止場会館

講師：Cristina Gorincioi Cebanu

講師のクリスチーナさんは、モルダヴィアで生まれ、8歳の時にスペインに家族で移り住み、カスティジャ・レオン州ブルゴス県アラнда・デ・デュエロ出身地としており、マドリッド、ヴァジャドリッドの大学で勉強した後、カスティジャ・レオン州の奨学資金を受け、中国の香港とマカオに近い中山大学で国際ビジネスを学んだ後、GlaxoSmithKline 社、Renault Groupe で働き、現在はスペイン大使館の国際トレードアドバイザーとして、Castilla y León 州への



の日本からの投資促進、同州の物産の日本市場へのマーケティングを担当しております。スペインは自治州国家ですが、Castilla y León は国内 17 の自治州の中で最大の広さを誇り、9 つの Provincia: Avila, Burgos, León, Palencia, Salamanca, Segovia, Soria, Valladolid, Zamora と 2248 の市町村からなり、人口はほぼ 240 万人です。州内に世界遺産 9 か所、美術館 400、城砦 castillos 497、大聖堂が 12 あります。先史時代の考古学遺跡としてはブルゴス県の La Sierra de Atapuerca、



サラマンカ県の Siega Verde (洞窟壁画) が世界遺産です。セゴヴィアの水道橋に見られるようにローマ時代の遺跡の他に、ヴィシゴート時代、ムスルマネス時代、レコンキスタ時代の建造物も多く見られます。聖地巡礼のカミーノ・デ・サンティアゴの Priaranza に協会創立 25 周年の記念事業として第 4 回桜植樹を行ったことを思い出します。露天堀り金鉱の Las Médulas (en la comarca leonesa de El Bierzo) も紹介されました。Semana Santa としては、León、Salamanca、Valladolid、Zamora が有名です。La Universidad de Salamanca (1218 年) は、欧州最古の 5 大学の一つです。最後に

Gastronomia の話となり、Vinos y Carnes の紹介です。ワインは原産地呼称 (DO) が 9 地区、Ribera del Duero, D.O、Bierzo, D.O、Toro, D.O、Rueda 他肉料理は Jamon de Guijuelo、Lechazo de Castilla Y León、Cocinillo de Segovia、Chorizo de Cantimpalos、la Marcilla de Burgos de León de Aranda、Gallina en pepitoria ; dulces y postres- Yemas de Santa Teresa 残念、もう紙面がありません。講演会は盛会裏に終わりました。(山崎宗城)



スペイン歌曲で綴る「お岩と伊右衛門夫婦の物語」

2022年7月2日 カワイ横浜コンサートサロン

脚本・演出 桜田ゆみ

あの四谷怪談がスペイン歌曲とどう結びつくの？それにこの脚本は当協会では初公演作品と聞けば、作成した桜田さんにどんなひらめきがあったのか？と興味津々。小粋な着物姿で演じる桜田さんの説明によれば、四谷怪談の実際のモデル夫婦は仲睦まじく一生幸せに過ごしたが、歌舞伎や落語の世界でのお岩さんは嫉妬に狂い死後幽

霊になって夫のもとに現れるという脚本のまま 300 年も語り継がれて来たとのことでした。今回はこの話を日本サルスエラ協会の皆さんが講談と歌、ピアノ、ギターで見事に演じられました。スペインの二人の巨匠のひとりJ・トゥリーナの名曲でお岩さんの愛溢れる幸せな一生を熱く歌いあげ、更に M・デ・ファリヤの楽曲の数々でお岩さんが嫉妬に狂い死後幽霊となり夫・伊右衛門を呪い不幸な結末で終わらせる怪談に仕立てられていました。スペイン語の歌詞と楽曲が実に見事に場面に嵌まっているのです！



話は変わって、今度は鮮やかな赤いドレスの桜田さんが 2 枚の赤いフラメンコドレスの女性の絵を背景にオペラ「山猫」から1曲熱唱。この絵は、日本とスペインの懸け橋となって活動されている画家・書家のアカ・レオンさんが日西の踊り手の違いを表現したものだそうです。出し物満載でしたが楽しくて面白くてそれでいて芸術性に富み、チームの皆様のパワーがみなぎる見ごたえ聴きごたえのある公演でした。(福長昭代)



★次回のスペイン・サロンのお知らせ

「フランコ後の政治史」

講演者：江口義孝氏(元 NHK 報道局国際部長・解説主幹、現在は専門委員)

日時：2022 年 9 月 17 日(土) 14：00～16：00

会場：波止場会館 1F 多目的ホール

※詳細はホームページ掲載のチラシをご覧ください。

●スペインサークル

《旅でスペインを識ろう会》

2022 年 4 月 18 日(月) かながわ県民センター709 号室

講演者：胡桃澤恒二

Como promotora de Castilla y León en Japón, he visitado a la Sociedad Hispánica de Yokohama el pasado 18 de Abril. El motivo de esta visita fue para reunirme con los miembros de la asociación con el objetivo de recordar un viaje por España realizado por uno de sus miembros y para hablar sobre: gastronomía, haciendo referencia a alguno de los restaurantes más conocidos en Madrid como es Lhandry o la chocolatería San Ginés, sobre arquitectura referenciando al Palacio de Cibeles o la basílica de Jesús de Medinaceli, sobre arte distinguiendo a Zurbarán, Goya o Murillo, sobre literatura destacando a Cervantes como máximo representante de la literatura española y sobre la historia de España. Fue muy sorprendente ver el gran interés, pasión e ilusión de los miembros de la asociación sobre la cultura española.
(Cristina Gorincioi Cebanu)

講演者：江口義孝氏

5月9日の発表会「作戦名『コロナ』を読み解く」に山田るり子先生のご紹介で参加させていただきました。NHKの報道局国際部長などの要職を歴任された江口義孝氏が、1973年に起きたETAによるスペインのブランコ首相暗殺事件からフランコ総統の死、そして立憲君主制へと歩んだ約5年間を、史実とフィクションの絶妙なミックスでドラマ化した「作戦名『コロナ』」の執筆経緯を豊富な資料を交えて解説されました。私自身が過ごしたスペイン民主主義の揺籃期を回想するとともに刮目の推論に聴き入りました。寄贈頂いたご本は当センターの蔵書として当会員に広く貸し出し致します。発表終了後は、講師と皆さまとの懇親会にも参加させていただき、談論風発の楽しいひとときを過ごしました。コロナ禍にもめげず各種文化的活動を活発に展開されている横浜スペイン協会の皆さまの熱意に敬意を表するとともに、今後私どもとの交流を深めたいと考えた次第です。(松崎一夫)

※2022年6月13日(月) かながわ県民センターで開催されました。

「Madrid アチコチの思い出 その2」 講演者：胡桃澤恒二

🌸 さくら便り① 大使館の桜



3月30日、新しく着任されたセンダゴルタ大使へのご挨拶のため、協会を代表して理事メンバーで大使館を訪問させていただきました。創立15周年の記念に寄贈植樹した横浜緋桜が満開でした。30周年の記念に植樹した苗木はまだ花の数は少なかったのですが、これから大きく育って大使館の庭を華やかにすることでしょう。新大使に我々の活動をご説明し、歓迎会と名誉会長就任式へのご出席をお願いいたしました。



🌸 さくら便り② ロンダの桜



2022年3月 ロンダ在住の芸術家で現地コーディネーターをしてくださっている、カベッサさん (Jose Cabeza Diaz) から美しく咲いている桜の写真が届きました。場所は「日本さくら広場」と名付けられている新市街北部です。町の中心地から歩いても行けます。



コロナ禍前の2019年4月に、創立30周年記念植樹を計画し現地調整のために訪問したロンダ市。30年前に植樹した桜の様子を確認した際、すでに散った後でしたが大きく成長していました。

ロンダからの2年ぶりに、さくら便りが届きました。本来なら2020年4月に、協会設立30周年記念のメインイベントとしてロンダにてさくら植樹と市民交流を行うはずでしたが、コロナ禍で延期になりました。ここにきて各方面の行動制限の撤廃緩和が進んできているという事で、5月より現地情報収集のためロンダ市役所の公園管理担当と現地窓口のカベッサさんとのやり取りを再開させました。2年前に用意していた10本の桜の苗木は植木屋が保管してくれ、いつでも植樹可能な状態です。来年4月のロンダ訪問を目指して、現在、ロンダプロジェクト再開の準備を進めています。日程、イベントなど内容が具体化しましたら、会員の皆様にお知らせします。

***** 新会員紹介 *****

坂間 至朗 (Shirou Sakama)

横浜市緑区在住

2022年4月入会

スペインが好き。特にフラメンコ、巡礼に興味あり。

<<賛助会員各社の会員サービス内容>>

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛助会員	住所	☎番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア1杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サングリア1杯無料

《編集後記》 久しぶりの編集後記です。ちょうど1年前の98号ぶりです。編集後記がなくてつまらないなあ、とのお声も聴かず寂しい思いをしておりました (自信過剰?)。年に4回とは言え、身の回りのスペイン関連の小ネタを探すのも案外忙しいものでした。なので、編集後記を書かないこの1年は毎号のんびりとした締め切りを迎えておりました。現代はネット社会で世界との繋がりは常にあります。でも渡航制限で海外旅行が出来ないというのは、息苦しさを感ずります。気のせいかな、小ネタも見つけづらいです。(A.S)

編集長/下山綾子 編集委員/ 岩田岳久 大戸正彦 下山利明 武菱邦夫 服部君江 原健三郎 松村清

投稿寄稿宛先 E-mail

全般 : info@yokohama-spain.jp

スペイン語教室: spanish_class@yokohama-spain.jp

スペイン・サロン: spain_salon@yokohama-spain.jp

ホームページ : <http://www.yokohama-spain.jp>

横浜スペイン協会

次回原稿締切は

10月10日(月)です